

公益財団法人
北海道青少年育成協会

北海道の次代を担う
青少年の健全な育成
に寄与することを
目的としています。

育む

はぐくむ

No.
33

令和6年
(2024)
9月発行



恵庭市立和光小学校の読書活動を支える皆さんです。

Contents

●開催報告

- 令和6年度 北海道青少年育成大会 2・3
- 令和6年度 「少年の主張」全道大会 4
- 令和6年度 青少年育成地域合同会議 5

●「北海道青少年のための200冊」 6

●「道民家庭の日」ほーっとニュース 7

●青少年の社会参加

- 北海道青少年基金事業交付団体・
元気づくりプロジェクト事業交付団体 8
- 北海道青少年基金事業顕彰団体 9

●その他

- 会長就任ご挨拶／お知らせ／賛助会員の募集
..... 10

開催 報告

令和6年度 北海道青少年育成大会（「少年の主張」全道大会）

9月6日(金) 北海道立道民活動センター(かでる2・7)／札幌市

当大会は、青少年の健全育成に対する道民意識の醸成を図るため開催し、今年は、全道から約400名の青少年育成関係者が一堂に集いました。

午前中は、青少年の育成に功績のあった方々の各表彰式や、全道の地区代表16名の中学生による「少年の主張」全道大会を開催しました。

午後は、金間 大介 氏（金沢大学教授／東京大学客員教授）による基調講演の後、活動発表では、道内で活躍する選手達のブレイキン対決や、キッズダンサーによるパフォーマンスが披露され、大会最後は、「少年の主張」の結果発表・表彰等が行われ、大会を締めくくりました。



北海道社会貢献賞（青少年健全育成功労者）表彰式

長年にわたり、青少年の健全育成活動に献身的にご尽力された14名（当日は10名出席）の方々に、北海道の野澤子ども応援社会推進監から北海道社会貢献賞が贈られました。

受賞者の方々は、日々の育成活動を思い起こしながら、今後の活動に向けて、決意を新たにしていました。



北海道青少年基金事業顕彰表彰式

「太平南剣友会」（札幌市）、「厚真けん玉クラブ」（厚真町）が受賞

地域づくりに貢献する優れた活動を展開している青少年や青少年団体の功績を讃え、当協会の山谷会長から北海道青少年基金事業顕彰として、「太平南剣友会」（札幌市）と「厚真けん玉クラブ」（厚真町）に賞状と記念品が贈られました。受賞された中西代表（太平南剣友会）と斉藤代表（厚真けん玉クラブ）は、これまでの活動が認められ、喜びと充実した表情を浮かべ、今後、更なる活動の飛躍を誓いました。

* 2団体の功績につきましては、9ページをご参照ください。



左：太平南剣友会 中西代表
右：厚真けん玉クラブ 斉藤代表

活動発表 「ブレイキン」 パフォーマンス

presents by 北海道ブレイクダンス協会

パリオリンピックで新競技となった話題の「ブレイキン」。活動発表では、道内で活躍する3選手が、即興の生ブレイキン対決を披露しました。客席の参加者にジャッジしてもらうなど、会場は大きく盛り上がりました。

その後、札幌市内ダンススタジオで練習を重ねるキッズダンサー達が全身を使ったアクロバティックなダンスの発表があり、今の若者・子ども達が情熱を持って取り組んでいる“想い”が伝わってきました。



Lil Yuu 選手
(リルユー)



A2ya 選手
(アツヤ)



shachi 選手
(シャチ)

先生が求める答えを提供する若者たち — いい子症候群の実像 —

金沢大学教授／東京大学客員教授 かな ま だいすけ **金間 大介 氏**



大学で教鞭を執る金間さん。日々の大学生とのやりとりやさまざまなデータに基づいて、今の若者達の実像を明らかにし、彼らとどう接するのが良いか、貴重な示唆を与えていただきました。

今の若者達

① 安定志向が止まらない～リクルート就職みらい研究所の調査から

「歴史や伝統がある企業」、「安定し、確実な事業成長を目指している企業」 若者に働きたい組織を聞いたものです。そんな若者を企業の側から見ると、「素直でまじめ」「しっかりとした受け答えをする」と評価する一方で、「何を考えているか分からない」「自らの意識を感じない」と映っています。

② 新入社員にとっての理想の上司は～日本能率協会等の調査から

理想の上司像を聞くと、仕事について丁寧に教えてくれて、若者の意見や要望に対して自ら動いてくれ、「叱る」などとてもなく、仕事の結果に情熱なども持たず…。「何言ってるの。こんなじゃ仕事になるわけない。」って感じですね。でも、これがデータから見える若者です。『してもらい上手』今の20歳代は、そう評されるのです。



拒否回避欲求

若者心理の解釈の一つです。①どんなに弱い拒否でも怖い。②拒否されそうな行動は最初からしない。③「ちょっと変わっている」「何それ？」って思われるのは怖い。承認欲求は強いけれど、この拒否回避欲求はそれを上回るんです。授業中に質問タイムを取るとします。皆ちゃんと聞いているので、質問したいことはある。「良い質問だね！」と言われる期待も。でも、ここで質問をすると、「何だ、あいつ、ここで質問するのか？」って思われたくない（拒否の回避）から、、、じゃあ質問は辞めよう、そうなるんです。これが拒否回避欲求。リスクを避けるんですね。

若者の幸福度意外に高いが、不安も

学生2200人に聞きましたが、挑戦しないと思える今の大学生の幸福度は意外に高い。10段階評価で6～7。5年後も幸福度は高いと感じています。一方で日本の将来については悲観的で、5以下が8割を占めます。そして“自分はこのままでいいのか”と、漠然とした不安を抱えている。

こうした大学生の半分は、「穏やかに暮らせれば、日本は衰退してもいい」そう考えています。

私たちは今、どうしたらよいのか

そんな低いモチベーションや不安を持つ若者をどうしたら良いか。不安を解消してあげたい、そう考えますよね。でも、僕の提案は「不安はそのままにしませんか。」ということなんです。不安や意欲などの「心」よりも「行動」を見てあげて、成長することやそれを実感することを支援してみるんです。

意欲が低いと言っても、何か行動しているのです。若手職員が会議資料を作りました。“作れることは分かっているので、何も言わない”のではなく、会議の後で「資料、見やすかったよ。サンキュー」そう伝えるんです。これを1日1回やってみませんか。それで自信が芽生えるのです。ただ、「資料、素晴らしかったぞ」って皆の前で褒めるのはダメですよ、辞めちゃいますから。

小さな情報フィードバックを

日本能率協会のアンケートで、自分が成長するために上司に期待することを聞きました。一番多かったのは「成長や力量に対する定期的なフィードバック」。これ本音だと思います。

話しかける時には評価や指導になってしまいがちですが、フィードバックは機械的にです。理想は万歩計。歩数しか表示しませんよね。「ありがとう、助かったわ。」で良いんです。「やれるのは当たり前。」と無反応なのは悪です。「俺、何かやらかしたか？」と若者は考えますからね。

この小さな情報のフィードバックを週に2～3回返すこと、成長の応援にはそれが大切なんです。



令和6年度「少年の主張」全道大会

社会に向けての思いや未来への希望を堂々と発表

昭和54年の国際児童年を記念して始まった「少年の主張」。

今年は、道内275校から約2万3千人の応募があり、この日の全道大会では、各地区代表の16名がそれぞれの主張を力強く発表しました。

厳正な審査の結果、石狩地区代表の数馬 灯里 さん（恵庭市立恵み野中3年）が最優秀賞となり、北海道代表として北海道・東北ブロックに参加します。



自分の思いを会場に届ける発表者

受賞者のみなさん

*最優秀賞・優秀賞の4名には「北海道コンサドーレ札幌賞」を贈呈

最優秀賞（北海道知事賞）

数馬 灯里 さん 「未来に咲く今」
石狩・恵庭市立恵み野中3年

優秀賞（北海道教育委員会教育長賞）

鎌田 千弦 さん 「とくべつなふつう」
札幌・札幌市立平岡緑中学校2年

優秀賞（北海道PTA連合会会長賞）

尾坂 空音 さん 「しあわせの形」
空知・岩見沢市立明成中学校1年

優秀賞（（公財）北海道青少年育成協会会長賞）

藤原 拓也 さん 「未来の舵取りを担う」
釧路・鶴居村立鶴居中学校3年

奨励賞

※当日発表順

細川 優菜 さん
札幌・札幌市立日章中 3年
光枝 美優 さん
宗谷・礼文町立香深中 3年
貝島 優羽 さん
後志・倶知安町立倶知安中 3年
山本結千花 さん
十勝・浦幌町立浦幌中 3年

篠田 涼帆 さん
渡島・長万部町立長万部中 3年
河本さくら さん
根室・別海町立上春別中 2年
白井遙ノ椀 さん
胆振・洞爺湖町立虻田中 3年
糸畑 雫 さん
檜山・江差町立江差北中 2年

高林 恵 さん
オホーツク・遠軽町立南中 3年
平田 琴音 さん
日高・様似町立様似中 3年
田村里々香 さん
留萌・遠別町立遠別中 3年
大串 雪花 さん
上川・北海道教育大学付属旭川中 3年



「北海道コンサドーレ札幌賞」を授与したドーレくん

「少年の主張」
全道大会 動画公開中!!



公開期間 ~10月20日 まで

最優秀賞 (北海道知事賞)

「未来に咲く今」

北海道恵庭市立恵み野中学校3年

かずま あかり
数馬 灯理 さん



皆さんには、夢や目標はあるだろうか。私には今のところ、具体的に夢と呼べるほどのものはなく、そういった夢を持つ友達を見ると、焦りや不安を感じていた。でも、そんな気持ちを和らげてくれた存在がいる。それは意外にも兄であった。

私には、今年成人式を迎えた兄がいる。高校卒業後、上京してすぐに働き、社会人三年目になる。兄は勉強が苦手、さらに反抗期で、学校も行ったり行かなかったりした時期があり、両親や担任の先生から卒業を危ぶまれるほど心配されていた。そんな兄ではあったが、あるときファッションに興味を持ち、高校二年生ごろからアパレル業界で働きたいと言うようになった。しかし、高校にアパレル業界からは求人がないことを知ると、高校三年生の夏休みに、北海道から独り飛行機に乗り、東京・大阪で開催されていた高卒対象者の合同企業説明会に参加するなどしていた。残念ながら、コロナ禍の影響もあったのか、アパレル業界の求人はそこにも来てはなかった。兄は希望していた職種ではなかったものの、いくつか求人を見つけ、最終的には配送業に就職した。結局、兄の夢は叶わなかったのだ。そんな兄を見て、私は思った。「飽きっぽい性格の兄だから、希望職種じゃない仕事なんて長続きしないだろう」と。しかし、結果は意外なものだった。持ち前のコミュニケーション能力と、効率の良い仕事ぶりが評価され、この春からは一つの店舗を任せられるまでになったのだ。学生時代は劣等生のレッテルを貼られ、希望する職種にも就けなかった兄なのに、今は職場から高い評価を得て、配送業という仕事に誇りを持ちながら生き生きと働いている。今思えば、兄は誰の助けを借りるでもなく自ら行動し、すべてを自分の意思で決断していた。当初の希望が叶わなくても、置かれた状況に文句を言うわけでもなく、そこでやりがいを見出し、自分で輝くための努力をしていたのである。

そんな兄を見ていて思い出した言葉がある。SNSで見かけた「置かれた場所で咲きなさい」という言葉だ。私は今までこの言葉を、辛くても我慢してそこで咲きなさい、という意味だと思っていた。

でも、違うのではないだろうか。この言葉は、兄のようにどんなところに置かれてもやりがいを見出し、自分次第でいくらでも輝くことはできる、という意味なのではないだろうか。

一年に数回兄が帰省すると、母と楽しそうに仕事での出来事について話している。私は、今まで夢や目標をなんとか見つけようと焦る気持ちでいっぱいだったが、無理に夢を見つけなくても、その時その時に置かれた状況を自分の中で出来る限り楽しむことができれば、それでいいのではないかと考えるようになった。私はそう思うことで、「未来」だけではなく「今」を大切に、どう楽しむかをいつも考えている。

私たちはこれからたくさんの壁にぶつかり悩むことがあるだろう。必ずしも自分の希望通りになるかどうかは分からない。でも、いつだって私の人生の舵を切るのは私だ。兄のように、どこにいてもその場所の良さを見つけ、精いっぱい楽しめるような豊かな人生を、この先歩んでいくために、どんなことでも挑戦し、積極的に取り組めるような主体性を持って行動したい。

幼少期のころは、

「どうせ俺なんて……」が口癖だった兄。

でも今は違う。

「大人は楽しいぞ、どこにいても、何をやっても。」

こう言い放った兄の笑顔は自信に満ちていた。

令和6年度 青少年育成地域合同会議

地域全体で青少年の健やかな成長に取り組むため、地域の青少年育成関係者と、青少年育成地域合同会議を14（総合）振興局単位で開催しています。

今年度は、5月14日の石狩振興局を皮切りに1ヶ月間開催しました。会議では、北海道（振興局）、北海道教育委員会（教育局）、当協会からの説明、北海道警察から少年の非行状況について情報提供を頂きました。

意見交換では、地域で活動する青少年育成運動推進指導員から、コロナ5類移行後の活動状況を中心に、成果や課題についてのお話がありました。その一部をご紹介します。

合同会議（石狩振興局）



■令和5年度の活動内容

- ・10月にハロウィンイベント、1月にeスポーツを開催。30名が参加し、たいへん盛りあがった。（遠別町）
- ・「子ども110番の家」を見直すため一度全てをリセットして改めて設置し、ステッカーも作り直した。（当麻町）
- ・4年ぶりに通学合宿を再開。小3～中3の13名が参加し、お風呂は近所の家でもらい湯を体験した。（滝上町）
- ・ネット以外に目を向けさせるため、「朝ラン会」（3分間でどこまで走るか）を月に一度実施。（妹背牛町）
- ・得意な方に講師となっていただき、ポニー乗車体験、クリスマスツリーづくり、星座観察会等を実施。（浦河町）
- ・コミュニケーション力を身につけるために挨拶が大切と考え、全町民対象に挨拶運動を実施。（様似町）
- ・体験を重視した季節ごとのイベントを開催。



ハロウィンイベント（遠別町）

- 5月：運動会 9月：陶芸 11月：ワインづくり 1月：スノーキャンドル作り 3月：親子料理教室。（仁木町）
- ・こいのぼりフェスティバル、キャンプ、ドッジビー、宿泊体験、カルタ大会、ドローン体験会などを実施。（江別市）

■活動の成果

- ・地域の祭りを通し、青少年とお互い顔が見える関係が築けた。
- ・町教委では「町中（まちなか）先生」をスローガンに、地域の大人が子どもを育てるとしているが、中学生・高校生もお手伝いで参加してくれた。
- ・管内の他市町村と合同でキャンプを実施。他地域の友だちとふれあうことができ、良かったという声を多数いただいた。
- ・地域住民との交流を通し、貧困家庭の情報を得たり、不登校児童と関わりを持てたりと、地域の課題にアプローチするための足がかりを得る場になった。



通学合宿（滝上町）



あいさつ週間・見守り活動（様似町）

■課題・今後に向けて

- ・高齢化により青少年育成に携わる方の担い手がいらない。
- ・少子化により子ども会組織の減少や解散があった。
- ・塾や少年団活動のため地域行事への参加者が集まらない。
- ・委員個人の活動ばかりで団体の活動があまりできていない。求められているものとできることの差が大きく、その把握も難しいと感じた。
- ・コロナ禍で子ども会行事ができなかったため、上級生が下級生の面倒を見るという伝統がなくなった。
- ・SNSに起因する問題が多く挙げられている。大人が真剣に考えなければならない問題である。
- ・以前から百人一首の練習に取り組んできたが、コロナ禍が明けてみると子どもたちは札を読めなくなっていた。百人一首をしたい子がいる以上、引き続き取り組んでいきたい。
- ・子どもたちとずっと深く関わるためには、大人が自ら動かなければならない。
- ・町の町民センターのロビーに子どもたちがいい意味でたむろしている。子どもたちの居場所として発展させられないか検討している。

「北海道青少年のための200冊」

—よい本で 美しい心 強い心—



今年の新選図書は47冊

青少年が、美しいものに感動する心、自分の頭でものを考える力を養うためには、良い本に接する機会が大切です。当協会では、北海道学校図書館協会と北海道読書推進運動協議会の協力をいただき、毎年「北海道青少年のための200冊」を選定しています。今年度は、新たに47冊を選定しましたので、その一部を紹介します。

幼児の部		小1の部		小2の部	小3の部		小4の部
							
ぼくとクッキーのなかなおり ひさかたチャイルド	おやすみまくら 小学館	ちゃうちゅう ちゃうねん 文研出版	いつかきっと あすなる書房	いえ あるひせんそうがはじまった 汐文社	時間をやく パン屋さん 金の星社	黒部の谷の小さな山小屋 アリス館	夢への扉を開け! 町田瑠唯 ベースボールマガジン社
小5の部		小6の部		中学生の部		高校生・青年の部	
							
ぼくはうそをついた ポプラ社	ハミングベアのくる村 偕成社	図書館がくれた宝物 徳間書店	とどけ! ボールつなぐれ! ぼくらの言葉 あかね書房	あした、弁当を作る 講談社	ケモノたちがはしる道 静山社	リラの花咲く けものみち 光文社	藍色時刻の君たちは 東京創元社

北海道青少年のための
200冊ポスター掲載校

和光小の児童は 読書が大好き

図書スタンプラリーの実施などで全校の読書活動を支える恵庭市立和光小学校図書委員の三役と6年生の皆さんです。和光小学校は、「令和5年度子供の読書活動優秀実践校文部大臣表彰」を受けた読書活動が盛んな学校です。



こどもの本ブックフェア ほんのおまつり 2024 (札幌会場) に出展

8月4日(日)から3日間、デ・アウネ協同組合札幌総合卸センターを会場に、(株)トーハン北海道支店等の主催で児童書を展示販売する「こどもの本ブックフェア」が開催されました。当協会も、一角をお借りして「北海道青少年のための200冊」の目録等を展示しました。最終日には「道民家庭の日」イメージキャラクターの「ほーほーくん」と北海道「朝読・家読」イメージキャラクター「ぶっくん」と啓発活動を行いました。



200冊目録は
こちらから



新しく選ばれた
47冊はこちらから



ほーほーくんが「道民家庭の日」PR活動に奮闘!!

今年も様々な行事・イベントに参加し、大忙しの“ほーほーくん”!!
子どもから大人まで大人気で、PR活動に奮闘しています。

「道民家庭の日」 ほーっとニュース



「ほくとくん」、 「ホゴちゃん」と合同街頭啓発

7月は、国が定める「青少年の非行・被害防止全国強調月間」です。毎月JR札幌駅で実施している「道民家庭の日」街頭啓発に、道警の「ほくとくん」と更生保護の「ホゴちゃん」が合流し、青少年の非行・被害防止などを呼びかけました。

「ほーほーくん」を含めた3キャラクターは、握手や記念撮影を求められるなど大人気でした。

実施日・場所

7月19日(金)・
JR札幌駅西口コンコース

参加機関等

道、道教委、道警、社明運動北海道推進委員会、
当協会



“社会を明るくする運動” メッセージ伝達式

“社会を明るくする運動”北海道推進委員会では、犯罪や非行の防止と更生を支え、安全で安心な明るい地域社会を築くため、7月を強調月間としています。道庁で開催された、“社会を明るくする運動”メッセージ伝達式に、ほーほーくんが参加し、推進委員の方々と一緒に、運動の広がりを願い、会場を盛り上げました。



北海道開拓の村「写生会」 ミニほーほーくん

家族ふれあい協賛店・施設として連携している「北海道開拓の村」が、毎年開催している幼児・小学生を対象とした「写生会」に参加し、「道民家庭の日」をPRしました。

当日は、ミニほーほーくんを見つけると、触ったり、一緒に写真を撮ったりと子ども達のまぶしい笑顔があふれていました。



「夏の暴力追放運動」 啓発活動

北海道暴力追放センターでは、道内から暴力を追放し、道民の安全・安心や青少年の健全育成を図るため、「夏の暴力追放運動(7/21~8/20)」を設定し、啓発活動を展開しています。ほーほーくんも飛び入りで参加し、地域の子供達や保護者等に暴力追放の呼びかけや、青少年の健やかな成長を願う「道民家庭の日」のPRをしました。



「足寄動物化石博物館」が 「道民家庭の日」協賛施設に

6月に足寄動物化石博物館が、「道民家庭の日」家族ふれあい優待制度の協賛施設となりました。

博物館は、1998年に開館し、足寄町で発見されたデスモスチルス類やクジラの仲間の骨格標本、地球の歴史や十勝の生い立ちを展示しているほか、化石の修復作業を体験できる化石工房もあります。

開館日に、当優待制度の優待券を持参すると、記念品として、実物ミニ化石がプレゼントされます。

ぜひ、ご家族で化石の展示をめぐり、様々な体験を楽しんでください。



青少年の 社会参加

青少年の主体的な社会参加・体験活動の促進

青少年が健やかに育ち、自立した社会人へと成長するよう、道内の青少年団体や育成団体が行う社会参加・体験活動を支援しています。

北海道 青少年基金事業

北海道青少年基金は、昭和53年に北海道110年記念事業の一環として創設されました。これまで道民の皆様から頂いた募金等総額3億3千万円の基金から生じる運用益を青少年団体へ交付しています。令和6年度は、48団体から申請があり、有識者による審査を経て、次のとおり交付を決定しました。

No	区域	市町村	団体名	事業内容
1	空知	滝川市	滝川青年会議所	第49回滝川児童名護派遣事業
2		深川市	深川市舞台芸術交流会	第19回子どもまつり
3		南幌町	南幌町子ども会育成連絡協議会	冬の宿泊研修（1泊2日）
4	石狩	札幌市	北白石地区青少年育成委員会	小中高生による「ふわっとホワイトコンサート」
5			丘珠地区子ども会育成連絡協議会	丘珠地区子ども会合同レクリエーション（バス旅行）
6			札幌オールブラックス	第5回北海道ジュニアベースボールリーグ
7		江別市	えべつあそび場創造プロジェクト	あそび場の提供
8			野幌若葉ウイングス ミニバスケットボール少年団	ウイングスミニバスケットボール
9			江別子ども劇場	親子で楽しむ紙芝居「たっちゃんの紙芝居」
10			江別東剣道スポーツ少年団	栗沢錬成会
11	後志	小樽市	浅草橋オーディーズナイト実行委員会	春の（秋の）小樽歴史紀行音楽きこう高校生バンド講習会と発表会
12	胆振	室蘭市	室蘭市青少年健全育成推進協議会	室蘭市子どもミニバレーボール交流会
13		苫小牧市	飛翔スワローズ野球同好会	野球少年団による青少年健全育成
14			苫小牧アミーゴ澄川	サッカー少年団による青少年健全育成
15			バンブスミニバスケットボールクラブ	ミニバスケット少年団による青少年健全育成
16			豊浦町	豊浦野球スポーツ少年団
17		安平町	アビススポーツクラブ	アビーウインターフェス2025（雪合戦、雪上アート、スケート等）
18	日高	新冠町	新冠町青年団体連絡会議	北海道の七夕「ろうそく出せ」事業・イルミネーションフェスタ事業
19	上川	旭川市	旭川市連合子ども会	旭川市連合子ども会リーダー研修会「宿泊研修」（1泊2日）
20			大町練武館道場	第53回旭川北部少年剣道大会
21			永山南クラブ野球少年団	永山南クラブ野球少年団
22	オホーツク	比布町	比布町子ども会育成連絡協議会	子どもわくわく交流事業（自然体験活動）・子ども地域貢献事業
23		網走市	網走市豊かな心を育てる活動推進会議	豊かな心を育てる標語
24			網走市文化連盟	あばしり子ども文化育成事業（創作作品発表・舞台芸術発表）
25	釧路	釧路市	東北北海道スポーツコミッション	こどもアリーナがらす（バスケットボール、自由に遊べるブース設置等）
26			スキルチャレンジ	青少年育成クロスアイスゲーム（アイスホッケー）
27			日本大学サッカー部・阿寒合宿交流事業実行委員会	元日本代表小島伸幸サッカーGKクリニック
28			ジョウジョウジュニアアイスホッケークラブ	アイスホッケー定期交流戦
29		標茶町	子どもの夢を育てるまつり実行委員会	子どもの夢を育てるまつり（各種体験コーナーの設置）
30		広域	くしろエコ・フェア2024	くしろエコ・フェア2024（活動内容パネル展示）
31	根室	別海町	別海水泳スポーツ少年団	水泳少年団による青少年健全育成事業
32			別海ライジングスピードスケート少年団後援会	スケート少年団による青少年健全育成事業
33			野付スワローズバレーボール少年団	バレーボール少年団による青少年健全育成事業
34			尾岱沼下の句カルタ少年団	尾岱沼下の句カルタ事業
35			尾岱沼水泳少年団	水泳少年団による青少年健全育成事業
36		中標津町	Lee's Dance Houseリーズ ダンス ハウス	Lee's Dance House20周年記念公演
37	全 道		北海道ローイング協会	茨戸川パラローイング・スクール
38			札幌ボート協会	第19回茨戸川ローイング・スクール
39			千歳一輪車クラブ	北海道ユニサイクルステージ2024in千歳
40			北海道青年会館	高校生の鉄道模型コンテストin北海道
41			どさんこ青少年オーケストラ協会	日本・台湾青少年オーケストラ国際交流事業
42			北海道少年少女合唱連盟	第39回北海道少年少女合唱連盟合同演奏会
43			北海道ライフスポーツ推進協会	さっぽろジュニアクロスカントリースキー大会2025

北海道青年活動元気づくり プロジェクト事業

青年が地域活動の実践を通じ、自らの能力の開発・向上と仲間づくりを進めることを支援し、地域の中核的な担い手として成長することを促進するため、道内の青年団体へ交付しています。令和6年度は、8団体から申請があり、有識者による審査を経て、次のとおり交付を決定しました。

No	区域	市町村	団体名	事業内容
1	石狩	札幌市	さっぽろレインボープライド実行委員会	道内における性的マイノリティ当事者の抱える諸問題の解消に関する事業
2		石狩市	浜益わかもん会	釣り堀Remodelingプロジェクト
3	渡島	函館市	大門学生祭復活プロジェクト	大門学生祭の復活
4	オホーツク	大空町	大空スポーツ・レクリエーション部	大空町初?のモルック大会 大空町杯

令和6年度 北海道青少年基金事業 顕彰団体

この顕彰は、北海道青少年基金を活用し、地域づくりに貢献する優れた活動を展開している青少年個人や青少年団体の功績を讃えて表彰するものです。

有識者による審査を行い、選定された受賞団体を紹介します。

表彰式は、北海道青少年育成大会にて執り行われました。（2ページ参照）



受賞団体：太平南剣友会（札幌市）

太平南剣友会は、次世代に継承できる健全な青少年の育成を目的に昭和58年に設立され、昨年40周年を迎えました。

自分に打ち勝つ強い心、常に相手を尊敬する気持ち、仲間を思いやる気持ちを大切に日々の稽古に励んでいます。

頼りになる先輩の背中をみて幼少期の小さな後輩が育ち、卒団生が指導にあたるなど世代を越えた交流の場を創出し、次世代の育成にも取り組んでいます。

その活動は剣道に留まることなく、地域の活性化のためにイベントへ積極的に参加し、学校清掃や浜辺でのゴミ拾いなど地域のボランティア活動を行うなど、人材育成やまちづくりに貢献しています。



受賞団体：厚真けん玉クラブ（厚真町）

厚真けん玉クラブは、けん玉を通して様々な世代との交流を広げることがを目的に平成30年に設立され、幼児から高齢者まで幅広い世代が活動を楽しんでいます。

設立直後の9月に発生した北海道胆振東部地震の際に、避難所にけん玉を持ち込んで、子どもたちの居場所をつくり、全国のプレーヤーから多大な支援を受けました。この経験を機に、「けん玉を通して人と人をつなぐ場」を意識した活動を展開し、けん玉遊び普及に加え、けん玉を通じたコミュニティづくりにも積極的に取り組んでいます。

活動は地域に留まることなく、多種多様なジャンル、人材を掛け合わせたイベントを全国で行い、厚真町内外のつながりを生み出す場を積極的に創出するなど、地域の活性化やまちづくりに貢献しています。



会長就任のご挨拶

この度、公益財団法人北海道青少年育成協会の会長に就任いたしました。

就任にあたり、ご挨拶申し上げます。

皆様には、日頃から本道の青少年の健全育成にご尽力をいただいておりますとともに、当協会の事業運営にご理解とご協力を賜り心から感謝を申し上げます。

今、本道の青少年を取り巻く環境は、インターネット・SNSの利用に端を発したトラブルや被害の増加、いじめや不登校、様々な格差やヤングケアラーの問題など複雑化し、大変厳しい状況にあります。地域では「活動を止めない」という強い気持ちで青少年育成活動が展開されており、頼もしく、心強さを感じております。

北海道の未来を担う青少年が限りない夢と理想を持ち、健やかにたくましく成長することは道民全ての願いです。「青少年は地域から育む」を合い言葉に、道や関係機関、団体等の皆様と連携・協力を密にし、地域の声に耳を傾け、必要な支援・情報等を届けられるよう私も全力で取り組んでまいります。

今後とも変わらぬご支援、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

公益財団法人北海道青少年育成協会
会長 山谷 吉宏



お知らせ

「道民家庭の日」絵画コンクール2024 入賞作品展を11月4日(月)に、 “チ・カ・ホ”で開催決定!!

「道民家庭の日」の普及啓発を図るため、全道の小・中学生を対象に、家族団らん、食卓、家事や仕事の手伝いをしている様子など、家族のふれあいをテーマにした「道民家庭の日」絵画コンクール2024を実施しています。

10月上旬の審査会で入賞作品(36点)が決定し、その後、全道各地で入賞作品展を開催する予定ですが、この度、最初の入賞作品展を、11月4日(月)に札幌駅前通地下歩行空間“チ・カ・ホ”で開催が決定しました。家庭の温かさが伝わってくる作品ばかりですので、ぜひ、ご来場ください。

賛助会員のご案内

道内の青少年育成活動を幅広く、力強く推進するため、当協会の活動に賛同していただける賛助会員を募集しています。現在、普通賛助会員47名・51団体、特別賛助会員142団体、合計240団体・個人の方にご入会いただいています。皆様のご理解とご協力をよろしくお願いいたします。

会員の種類及び会費

(1) 普通賛助会員

個人	一口	年会費	1,000円
青少年関係団体	一口	年会費	5,000円

(2) 特別賛助会員

法人及び地方公共団体	一口	年会費	10,000円
------------	----	-----	---------

ご入会ありがとうございます

令和6年度のご入会者の紹介

【普通賛助会員】

佐々木	良栄	様	(美瑛町)
宮本	匠	様	(新十津川町)

優待券の使い方(コピー可)

- 家族ふれあい協賛店や施設にこの優待券をお持ちになると料金の割引や各種サービスが受けられます。
- 道民で、18歳未満のお子様を含む家族の方に限ります。(対象人数は各店・各施設で異なります。)
- ご来店・ご来場の際に提出してください。



ほーほーくんの紹介

「道民家庭の日」のイメージキャラクターのほーほーくんは緑色のかわいい子どものフクロウです。道民の皆様へ家族の絆を深めてもらえるよう、「道民家庭の日」のPR活動などで大活躍しています!

令和6年9月発行

公益財団法人 北海道青少年育成協会

札幌市中央区北5条西6丁目1番地23 第二道通ビル
TEL 011-231-6451 FAX 011-231-6457 Eメール youth@ikuseikyo.jp



ホームページのご案内

<http://www.ikuseikyo.jp/>



機関誌「育む」のご案内

バックナンバー

道民家庭の日
家族ふれあい

優待券

優待日
毎月第3日曜日
(※営業日などのところもあります。)

2025年3月31日まで有効

公益財団法人 北海道青少年育成協会